

## 人間と生命 (Humanity and Life)

### 生物と環境 (Life and Environment)

佐藤 征弥・准教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 木 3・4

(平成19年度以前の授業科目:『人間と生命』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『生物学』)

**【授業の目的】** 環境問題を考慮せずには、これからの社会づくりはできません。そして個人の生活にもますます大きな影響を与えていくことは間違いなく、私達は環境のことをよく知る必要があります。人間は自然環境に対して無限に搾取できると考えていました。しかし、近年になって大規模な環境破壊が、様々な形で人間に悪影響を及ぼすようになり、このような考えが幻想であることが明らかになりました。環境破壊をくいとめるためには、破壊の現状を正しく認識するとともに、環境のもつ価値を具体的に評価するシステムが必要です。また、このような流れを受けて、農林水産業や都市構造も変容を余儀なくされてきています。この講義では具体例を多く取り上げながら、環境保全、農業や食の問題、都市づくりについて考えていきます。

**【授業の概要】** まず環境破壊の現状について解説する。次に生物資源をどのように利用しているのか、利用するべきかについて解説する。最後により良い環境とは何か、そして目指すべき環境創造について考える。

**【キーワード】** 生態系, 環境問題, 農業問題, 生物多様性

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** [関連科目]

**【到達目標】** 環境の価値とは何かを具体的に理解する。

**【授業の計画】**

1. 森林の破壊 1 アマゾンの熱帯雨林
2. 森林の破壊 2 山火事
3. 森林の破壊 3 植林, 砂漠化対策
4. 地球温暖化 1 地球温暖化のメカニズム
5. 地球温暖化 2 京都議定書による温室効果ガスの排出抑制
6. 地球温暖化 3 京都議定書と生物多様性条約の意味するもの
7. 農業問題 1 食料危機と緑の革命
8. 農業問題 2 作物の改良技術
9. 農業問題 3 農産物の安全性
10. 食品と医薬品 1 食品の安全性
11. 食品と医薬品 2 薬の発見と作用
12. 植物と文化 民俗植物学

13. 都市の環境問題 1 環境創造とは何か

14. 都市の環境問題 2 ゴミ問題, 車社会からの転換, コンパクトシティ

15. 期末試験

16. 総括授業

**【教科書】** 教科書は使用しない。参考書は、適宜紹介する。

**【参考書等】** [参考資料]

**【成績評価の方法】** 授業への取り組み状況(毎回課すミニッツペーパー)と期末試験(ノート, 資料持ち込み可)により評価する。

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** [注意]

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221610>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 佐藤 (088-656-7222, [satoh@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:satoh@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (オフィスアワー: 研究室に在室している時はいつでもOK, 植物生理学研究室(総合科学部3号館3階北棟))

# Humanity and Life

## Life and Environment

Masaya Satoh · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 後期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目: 『人間と生命』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『生物学』)

**Target** 環境問題を考慮せずには、これからの社会づくりはできません。そして個人の生活にもますます大きな影響を与えていくことは間違いなく、私達は環境のことをよく知る必要があります。人間は自然環境に対して無限に搾取できると考えていました。しかし、近年になって大規模な環境破壊が、様々な形で人間に悪影響を及ぼすようになり、このような考えが幻想であることが明らかになりました。環境破壊をくいとめるためには、破壊の現状を正しく認識するとともに、環境のもつ価値を具体的に評価するシステムが必要です。また、このような流れを受けて、農林水産業や都市構造も変容を余儀なくされてきています。この講義では具体例を多く取り上げながら、環境保全、農業や食の問題、都市づくりについて考えていきます。

**Outline** ① 環境破壊の現状について解説する。次に生物資源をどのように利用しているのか、利用するべきかについて解説する。最後により良い環境とは何か、そして目指すべき環境創造について考える。

**Keyword** 生態系, 環境問題, 農業問題, 生物多様性

**Fundamental Lecture** ① [先行科目]

**Relational Lecture** ② [関連科目]

**Goal** ③ 環境の価値とは何かを具体的に理解する。

**Schedule**

1. 森林の破壊 1 アマゾンの熱帯雨林
2. 森林の破壊 2 山火事
3. 森林の破壊 3 植林, 砂漠化対策
4. 地球温暖化 1 地球温暖化のメカニズム
5. 地球温暖化 2 京都議定書による温室効果ガスの排出抑制
6. 地球温暖化 3 京都議定書と生物多様性条約の意味するもの
7. 農業問題 1 食料危機と緑の革命
8. 農業問題 2 作物の改良技術
9. 農業問題 3 農産物の安全性
10. 食品と医薬品 1 食品の安全性
11. 食品と医薬品 2 薬の発見と作用
12. 植物と文化 民俗植物学

13. 都市の環境問題 1 環境創造とは何か

14. 都市の環境問題 2 ゴミ問題, 車社会からの転換, コンパクトシティ

15. 期末試験

16. 総括授業

**Textbook** ④ 教科書は使用しない。参考書は、適宜紹介する。

**Reference** ⑤ [参考資料]

**Evaluation Criteria** ⑥ 授業への取り組み状況 (毎回課すミニッツペーパー) と期末試験 (ノート, 資料持ち込み可) により評価する。

**Re-evaluation** ⑦ 無

**Message** ⑧ [注意]

**Contents** ⑨ <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221610>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ Satoh (+81-88-656-7222, [satoh@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:satoh@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office Hour: 研究室に在室している時はいつでもOK。植物生理学研究室(総合科学部3号館3階北棟))